



年少だより



2021. 3. 彩都けいあい

<楽しかった発表会>

年少組にとって初めての発表会。
 毎日絵本を読んだり「ooごっこ」をしてお話の世界のイメージを膨らませてきました。
 オオカミに見つからない様に隠れ石を運んだり、大きな魚を探しに幼稚園を探検したり、おじいさんをもてなす踊りを皆で考えたりと、登場人物になりきって活動していたことです。
 当日も「早く見て欲しい〜！」と話している姿が沢山見られ、緊張しながらも最後まで取り組むことが出来ました。



<何でも発表会>

自分の好きなことをみんなの前で発表する際、始めは恥ずかしそうに前に出てくる姿もありましたが、2学期、3学期と経験を重ねるうちに堂々と発表をすることが出来る様になりました。
 また、発表の内容も幅広くなってきており、歌やダンス前回り、家で作った製作物を見せてくれたりなど、こちらもどんな発表をしてくれるのか楽しみにしていたことです。

<大好きなE~たいむ>

ゆり組さんは週に一度のE~たいむが大好きで、リキ先生の姿が見えると大はしゃぎで「リキ先生！Good morning!」と挨拶をしていました。沢山の歌あそびを覚えることが出来、音楽が鳴ると身体を動かしながら元気に発音をする姿がありました。
 また、フルーツや表情のフラッシュカードも好きで「I'm happy!」と楽しく学ぶことができていました。



<目指せロッカーチャンピオン！>

制服に衣替えした頃は、先生の手助けなしでは着替える事が難しかった子ども達。今では苦戦していたブラウスのボタンの留め外しや、裏返しになった服を戻すことも自分の力で出来る様になりました。
 また、ロッカーの整理も自分達で行うようになり、丁寧に畳んだり、鞆の掛け方等もお当番さんや友達と声を掛け合っていく中で、整理整頓を心掛けられるようになっていきました。



<筆あそび・ハサミ・のりあそび>

描画以外にも様々な絵画・造形活動に取り組みました。
 『筆あそび』では、白画用紙の上に白いクレパスで好きな絵を描いた後うす絵の具で上から塗り、浮き上がった絵に「魔法の絵の具だ!」と大興奮の子ども達でした。
 『ハサミ・のりあそび』では、自分の顔を作りました。ハサミを持っていない反対の手を器用に動かして、丸を切る事が出来る様になりました。のりの量も貼り付ける物の大きさに合った量を自分で考えて調整し、作り進められる様になりました。また「髪の毛長いから沢山切らないと!」と自分の特徴を捉えて工夫して完成させていました。

<年中に向けて>



入園当初は新しいことに挑戦したり難しいと感じることがあったりすると「やってほしい・・・」と伝えることが多くありましたが、今では出来るようになったことも増え、諦めずに取り組む姿が見られるようになりました。
 又、友達の名前も覚え、自ら遊びに誘う事も出来る様になりました。達成できることの喜びや友達と関わることの楽しさを感じている子ども達をしっかりと褒め、年中組になっても進んで様々なことに取り組める様、最後まで働き掛けていきます。

